

## 1 研修のテーマ

「学年内での生徒の情報共有及び指導・支援内容の検討」

## 2 研修の方法

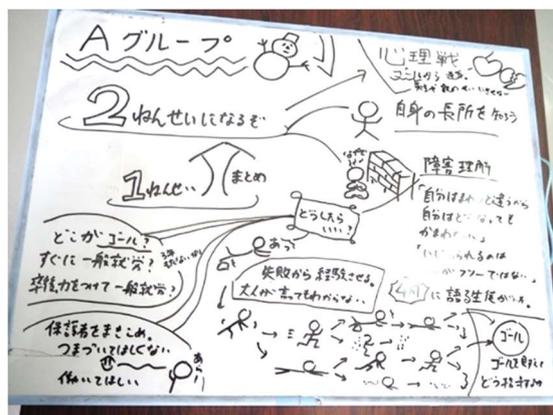
- (1) 学年研修の日に、流れの確認、グループワーク、全体での交流、次回に向けての確認という流れを基本として、先生方同士で話し合いを行う。
- (2) グループワークは、基本的には3つのグループに分かれて行う。生徒の実態把握、情報共有をし、決めた話題に応じて具体的な指導や支援について検討する。
- (3) 全体での交流にて、グループで話し合ったことを共有する。(写真1)
- (4) 以上の要領で、悩みや困りごとを共有し、体験談やアドバイスを持ち寄り、指導の改善へとつなげることを目指す。

## 3 研修の様子

- ・ 1グループに3学科それぞれの先生が入るように、またメンバーが固定されないように工夫してグルーピングをした。
- ・ 各グループで話し合ったことをホワイトボードに記入し、全体での交流で活用した。また、写真を撮影し記録として残した。(写真2)
- ・ その時々によって先生方の悩み、話し合いたい内容が様々あると思われたため、各グループで内容を決めて進めることにした。
- ・ 作業学習の在り方、障害受容、自己理解、性についての指導、安定した登校、ICTの活用など、多岐に渡る内容を話し合った。



(写真1)



(写真2)

## 4 成果と課題

- ・ グループワークにより、職員同士の交流を深めることにつながった。
- ・ そのときの状況に応じたテーマで話し合いを進めることができた。
- ・ 悩みに対して、様々な視点からアドバイスをし合うことができた。
- ・ 内容によっては、定期的に話し合いや情報共有をすべきものもあった。
- ・ グループワークの内容を還元するには、全体での交流だけでは足りなかった。